

## 平成 30 年度事業報告（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

### I. 事業の状況

本年度は次の通り事業を実施した

#### II-1. 特別企画展（入館者数 65,364 人：有料+無料）

入館者		本年度	前年度	増減	備考
一般	個人	60,398	39,859	20,539	友の会員等含む
	団体	1,188	869	319	
学生 (大高中小)	個人	3,255	2,303	952	
	団体	523	508	15	
計		65,364	43,539	21,825	

### 2. 特別企画展の内容

年間を通して下記の特別展を開催した。

	特別展示名	会期	会期日数	入館者（人）	
				入館数	日当り
1	柚木沙弥郎の染色	平成 30 年 4 月 3 日～6 月 24 日	72 日	32,531	452
2	書物工芸	平成 30 年 7 月 3 日～9 月 2 日	54 日	5996	111
3	白磁	平成 30 年 9 月 11 日～11 月 23 日	64 日	11,196	175
4	平成 30 年度日本民藝館展	平成 30 年 12 月 9 日～12 月 23 日	13 日	4,105	270
5	柳宗悦の「直観」	平成 31 年 1 月 11 日～3 月 24 日	63 日	11,536	183
開催日数・総入館者数			266 日	65,364	246

### III. 民藝の普及・振興に関する事業

#### 1. 特別展にあわせて下記の記念講演・ワークショップなどを開催。\*参加人数は有料者人数

	記念講演会名等	講師	実施期日	参加人数	会場
1	自作と日本民藝館	講演：柚木沙弥郎（染色家）	5 月 19 日（土）	120 名	本館
2	総合芸術としての書物・ブレイク・モリス・柳宗悦	講演：佐藤光（東京大学教授）	8 月 4 日（土）	67 名	本館
3	朝鮮白磁の偏屈さを読む	講演：伊藤郁太郎（大阪市東洋陶磁美術館名誉館長）	11 月 2 日（土）	119 名	本館
4	柳宗悦の「生」と「直観」	講演：松井健（東京大学名誉教授）	11 月 11 日（土）	110 名	本館
	「白磁」展ギャラリートーク	田代裕一（東京藝大工芸史助手）	会期内 3 回	60 名	本館

#### 2. 小・中・高等学校との連携事業

小学校（2 校）と高校（1 校）の学生に対して美術鑑賞教育を館内にて実施  
 私立桐朋学園小学校 73 名、武蔵野東小学校 22 名、橘学苑高等学校 25 名

#### 3. 博物館実習教育プログラム（博物館実習の受入れ）

学芸員資格の取得を希望する学生に対して現場での教育実習プログラムを設け、各大学より応募があった学生を対象に講義と実習を行った。

事業名	実習日数	学校数	人数	教育カリキュラム
博物館実習生の受入	10日間（6月下旬～） ・ 講義4日間 ・ 実習6日間	大学 13校	14名	1.講義（民藝館の活動、民藝美論、蔵品の管理、展示に関する基礎知識） 2.実務実習（展示替え作業）

#### 4. 国際文化交流事業（国内含む）

- ・ 韓国ソウルのギャラリー現代で開催された「朝鮮時代の花鳥図」展（会期：2018年7月4日から8月19日）への出品協力（作品二点）を実施。
- ・ 国際交流基金からの依頼を受け、フランスのパリ装飾美術館で開催された「ジャポニスムの150年」展（会期：2018年11月15日から2019年3月3日）への出品協力（濱田・河井・芹沢作品など8点）を実施。
- ・ 北欧ジャポニスム展の開催準備のため、フィンランド・アテネウム美術館での会議に参加。
- ・ 韓国国外所在文化財財団と東京大学韓国学研究所の共催による、「2018 日韓文化財専門家シンポジウム」が東京大学駒場キャンパスで開催された。当館も関係機関としてシンポジウムに参加。

#### 5. 日本民藝館所蔵品の貸出

日本民藝館の所蔵品貸出は下表の通りである（美術館等は17ヶ所、出品497点）

会場	展覧会名	貸出作品	点数	会期（平成）
現代工芸美術館	生誕300年木喰 展	秋葉大権現、自身像等	4	30.7.14-10.21
日本近代文学館	志賀直哉 展	書簡	1	30.3.31-6.9
サントリー美術館	琉球 美の宝庫	白地花織衣裳等	5	30.7.18-9.2
仙台市博物館	手仕事の日本-柳宗悦のまなざし	日本各地の諸民藝品	118	30.4.20-6.3
韓国文化院	薩摩焼420年 沈寿官窯	白磁碗等	2	30.6.22-7.12
静岡県芹沢美術館	芹沢銈介のイラストレーション	芹沢銈介作品	5	30.7.15-11.25
三井記念美術館 龍谷ミュージアム	日本の素朴絵	絵画	各7	30.7.6-9.1 30.9.21-11.17
兵庫陶芸美術館	没後50年河井寛次郎 過去が咲いてゐる今・・・	鉛釉白流蓋壺	1	30.9.22-12.9
サントリー美術館 山口県美術館	扇の国 日本	阿弥陀聖衆来釈図等	各3	30.11.28-31.1.20 31.3.20-31.5.6
豊田市民芸館	棟方志功と柳宗悦	棟方志功作品等	136	30.10.6-12.6
南砺市福光美術館	棟方志功	棟方志功作品等	22	30.9.8-11.4
黎明館	華麗なる薩摩焼	白磁碗等	3	30.12.25-31.2.24
那覇市壺屋焼博物館	民藝と壺焼	陶磁器	38	30.11.3-12.27
武蔵野美大美術館	和語表記による和様刊本の源流	色紙和讃等	5	30.11.1-12.16
21-21 DESIGN SITE	民藝 MINGEI-Another Kind of Art	古今東西の諸工芸品	147	30.11.2-31.2.24

#### 6. 調査・研究及び情報収集・提供に関する事業

- ・ 書籍、文献類の目録整理と電子データベース化の継続実施
- ・ 2019年度に開催される「アイヌの美しき手仕事-柳宗悦と芹沢銈介のコレクションから」（主催：アイヌ民族文化財団、北海道立近代美術館、宮城県立美術館）及び2020年に開館予定の国立アイヌ民族博物館の開館展示のためのアイヌ工芸調査が実施された。

#### IV. 民藝の工人育成・協力推進事業

##### 1. 日本民藝館展の開催

- ・会期 平成 30 年 12 月 9 日～12 月 23 日（13 日間）
- ・表彰式・講評会 平成 30 年 12 月 8 日（受賞者：館賞 1、協会賞 1、奨励賞 5）
- ・入館者数 4,105 人

出品状況（応募・審査状況）

出品分野	出品者数	制作者数	出品点数	審査結果		
				入選	準入選	落選
分野（陶磁器、染織、織物、木漆工、ガラス、編組等）	295 名	325 名	1,324 点	442 点	374 点	508 点

#### V. 広報 他

- ・各特別展のポスター及び年間特別展開催パンフレットを製作し、京王線主要駅の駅貼り掲出や美術館・教育機関・工芸館ギャラリーなどへの配布
- ・各特別展のチラシ（案内状）を製作し、報道機関・民藝関係者・友の会会員への配布及びマスコミからの館・展覧会に関する紹介（誌面・放映）とインタビューが行われた。
- ・創設 80 周年記念事業基金の募金協力の継続実施（3 ヶ年計画）

#### VI. 所蔵品等の修復・保存整備

- ・収蔵庫及び大展示室の温度・湿度計の増設
- ・厨子甕、朝鮮陶磁器、芹沢作品等の修復、

#### VII. 所蔵品の蒐集品（2 点）・寄贈品（104 点）

厨子甕 2 点購入

寄贈品

棟方志功作（大津絵、青面金銅各一幅）、バーナードリーチ作（線彫呉須差山水文皿）1  
片野かおり作（藍染綿地折縫絞布、藍染泰茶綿地絞布、各 1）芹沢銈介作（古事記 1 点）  
厨子甕（25 基）、柳宗理着用（ウールジャケット 1 点）、柚木沙弥郎作（染色 28 点）  
河井寛次郎作（白地花文角瓶、煙草具セット、筒描彩釉陶板、三色扁壺各 1 点）  
宮平（琉球絣 1 点）、漆絵栗文瓶子 1 点、濱田庄司作（水差し、角皿各 1 点）  
朝鮮民画（文字絵「孝」「忠」各 1 点）、糸糸見本（色名道明 4 箱）、絹着尺他 30 点

#### VIII. 日本民藝館の営繕管理、設備等

- ・屋外収蔵庫設置工事、

#### IX. 役員等に関する事項

平成 30 年 6 月 1 日 定時評議員会

- 議事事項 ・平成 29 年度事業報告及び計算書類等について  
・理事・評議員・監事の任期満了に伴う選任 等

平成 30 年 6 月 20 日 みなし決議に関する評議員会

- 議事事項 ・平成 29 年度事業報告及び計算書類等の承認

平成 30 年 6 月 1 日 第 1 回理事会

- 議事事項 ・平成 29 年度事業報告及び計算書類等の承認等  
・理事・監事の改選候補の承認事項 等

平成 30 年 6 月 1 日 第 2 回理事会

- 議事事項 ・理事長及び常務理事の選定について

平成 31 年 3 月 12 日 第 3 回理事会

- 議事事項 ・平成 31 年度事業計画及び収支予算の承認  
・平成 31 年度定時評議員会の招集について 等

- ・平成 30 年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する付属明細書は、「事業報告の内容を補足する重要事項」が存在しないので作成していない。

平成 31 年 5 月  
公益財団法人 日本民藝館